

令和3年度人権教育指導者研修会 I を開催

趣旨：すべての人々の人権が真に尊重される共生社会の実現を目指し、人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上を図る。

令和3年度のテーマ

「気づきから行動へ ～対話・活動を活かした人権学習～」

【Ⅰ】日時・場所 令和3年 8月 4日(水) 午後 ホテルルビノ京都堀川「みやこ」

①講演「同和地域における子どもの居場所づくり」

講師 特定非営利活動法人 あわじ寺子屋 副理事長 大賀 喜子 様

②実践交流

各市町(組合)、学校での人権教育の実践事例について交流

講師の長年にわたって地域の人と共に様々な問題に向き合ってきた経験、地域の子どもたちに寄り添い支えてこられた実践に、参加者は今後の活動において大事にしていくべき視点に気付かされる研修となりました。実践交流は、市町、役職を超えての交流を行いました。



「Zoom」を活用しての講演

【参加者の感想】

- 同和问题だけでなく、子どもの人権についても考えさせられる内容であった。
- 「困っている子どもがいる」という現実を前にして支援ではなく「子ども自身の自立」を目指していることが印象に残った。
- 機関単体でできることとその役割、連携の重要性について考えることができた。
- 実践交流では所属している市以外の行政、学校現場の取組を知ることができてよかった。



実践交流は社会教育関係者、学校関係者、行政担当者と立場の違う参加者がグループになって交流しました。

